



2019年度

甲南大学 大学院入学試験要項

人文科学研究科
自然科学研究科
社会科学研究科
フロンティアサイエンス研究科

修士課程・博士後期課程

目 次

甲南大学大学院 入学者受入の方針 アドミッション・ポリシー

1. 趣 旨	1
2. 入学定員・募集区分	1
3. 修士課程（一般）[出願資格・出願書類・選考方法]	2
4. 修士課程（社会人）[出願資格・出願書類・選考方法]	7
5. 博士後期課程（一般）[出願資格・出願書類・選考方法]	12
6. 博士後期課程（社会人）[出願資格・出願書類・選考方法]	16
7. 出願共通事項	19
8. 受 験	21
9. 試験日・合格発表日	23
10. 入学手続	24
11. 納 付 金	24
12. そ の 他	26
長期履修制度について	27
病気・負傷や障がい等のある方への受験上の配慮および修学上の配慮について（全入学試験共通）	28
システム処理に伴う文字の取扱いについて	28
個人情報の取扱いについて	28
出願書類記入上の注意事項	29
出願書類（本学所定用紙）一式	

（※大学院AO入学試験要項及び外国人留学生入学試験要項は別冊子となります。）

日程一覧

修士課程

募集区分	出願期間	研究科	試 験 日	合格発表日	第1次入学手続	第2次入学手続
1次募集 〔一般〕 〔社会人〕	7月30日（月） ～8月6日（月） （6日消印有効）	人文科学研究科	9月1日（土）	9月7日（金）	9月11日（火） ～9月19日（水）	2019年 2月28日（木） ～3月6日（水）
		自然科学研究科				
		社会科学研究科				
		フロンティアサイエンス研究科				
2次募集 〔一般〕 〔社会人〕	1月16日（水） ～1月25日（金） （25日消印有効）	人文科学研究科	2月16日（土）	2月22日（金）	〔一括入学手続〕 2019年 2月28日（木）～3月6日（水）	
		自然科学研究科				
		社会科学研究科				
		フロンティアサイエンス研究科				

注）1次募集の結果、入学手続者数が入学定員に達した場合は、2次募集を実施しない場合があります。

2次募集の実施については、11月上旬にアドミッションセンターホームページでお知らせします。

博士後期課程

募集区分	出願期間	研究科	試 験 日	合格発表日	一括入学手続
一 般 社会人	1月16日（水） ～1月25日（金） （25日消印有効）	人文科学研究科	2月16日（土）	2月22日（金）	2019年 2月28日（木）～3月6日（水）
		社会科学研究科			
		自然科学研究科	2月17日（日）		
		フロンティアサイエンス研究科			

甲南大学大学院 修士課程 入学者受入の方針 — アドミッション・ポリシー —

求める学生像

甲南大学大学院修士課程では、各専攻分野における基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識・技能を修得し、各専攻分野における研究能力を有し、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高度な倫理観を備え、各分野でリーダーシップをとれる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。

- (1) 各専攻分野における高度な専門的知識・技能を修得するため、大学または相当する教育機関において各専攻分野に関する幅広く基礎的な学力を身につけている。
- (2) 各専攻分野における研究能力を得るために、基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識・技能を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。
- (3) 各専攻分野において、高度な専門性が求められる職業を担い、高い倫理観を備え、各分野におけるリーダーとして、問題解決と社会の発展に貢献する意欲をもっている。

【人文科学研究科】

求める学生像
人文科学研究科修士課程では、人文科学の4つの領域における幅広く高度な専門的知識・技能及び研究能力を有し、高度専門職業人に求められる視野の広さと高い倫理観を備え、社会及び学術の発展・向上にリーダーとして寄与できる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 人文科学分野における高度な専門的知識・技能を習得するため、大学または相当する教育機関において、人文科学に関する幅広く基礎的な学力を身につけている。 (2) 人文科学分野における研究能力を培うために、基礎を固めつつ応用力も鍛え、人文諸科学を横断する幅広く高度な専門的知識・技能を主体的に身につけようとする意欲をもっている。 (3) 人文科学分野において、高度専門職業人に求められる視野の広さと高い倫理観を備え、社会及び学術の発展に貢献する意欲と積極性をもっている。

応用社会学専攻

求める学生像
応用社会学専攻では、包括的な理論と精緻な資料・文献の分析に基づく研究によって、研究者または高度専門職業人として必要な研究能力ならびに技能を身につけ、それに相応しい広い視野と高い倫理観を備えた人材を養成するために、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 大学または相当する教育機関において社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関して研究を展開する基礎的能力、専門的な業務に従事できる技能、広い視野と高い倫理観を備えるための入門的学力を身につけている。 (2) 入学後に社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関して研究を展開する基礎的能力、専門的な業務に従事できる技能、広い視野と高い倫理観を備える意欲があり、それらを身につけることができる。 (3) 学びの成果を固め、専門領域の基礎力ならびに社会人としての基礎力の証左となる修士論文等を執筆する能力を身につけ、研究者または高度専門職業人となる意欲をもっている。

日本語日本文学専攻

求める学生像
日本語日本文学専攻では、日本語学・日本文学研究の分野における基礎から応用までの幅広く的確な専門的知識を基盤とした研究能力を有し、かつ、研究を遂行するうえでの高い倫理観を備え、修了後には高度な専門性が求められる職業に就き得る能力と社会および学術の発展、向上に寄与できる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 入学後に日本語学・日本古典文学・日本近現代文学の各研究領域に関する専門的知識や研究方法を修得するために必要な、基礎的な学力および基礎的研究能力を大学または相当する教育機関において身につけている。 (2) 包括的な理論と精緻な文献・資料の分析に基づく日本語学・日本語教育学・日本文学の各研究を、高い倫理観に基づいて自律的に推進して行くことができる。 (3) 修了後には日本語学・日本語教育学・日本文学の各研究の学術的発展に貢献し、高度専門職業人として社会の発展・向上に寄与できる人材となるべき理想と意志をもっている。

人間科学専攻

求める学生像
人間科学専攻では、心理臨床専修、環境・芸術・思想専修のいずれかの分野における高度専門職業人または自立した研究者として必要な能力、あるいは環境・芸術・思想専修における専門知識に裏付けられた高い教養を有するとともに、専門的知識・技能の修得と人文諸科学を横断する学修を通じて得られた視野の広さを持ち、高い倫理観と社会貢献への意志を備えた人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) いずれかの分野における高度専門職業人として必要な能力を身につけるため、大学または相当する教育機関において、同分野に関する幅広く基礎的な学力を身につけている。 (2) いずれかの分野における自立した研究者として必要な能力を身につけるため、基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識や技能を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 (3) いずれかの分野において、広い視野を持ち、高い倫理観と社会貢献への意志を備えた人材となる意欲をもっている。

英語英米文学専攻

求める学生像
英語英米文学専攻では、英語学、英米文学・文化に関する幅広い知識を身につけ、優れた英語運用能力と高い倫理観を兼ね備えてグローバルに活躍できる高度専門職業人を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 英語学、英米文学・文化に関する体系的な知識や研究技能を修得するため、大学または相当する教育機関において、十分な基礎知識と英語力を身につけている。 (2) 高度な言語能力を修得し、自立した研究を遂行するために、日々の努力を継続し、授業内外で幅広い豊かな教養と国際的視野を自主的に身につけることができる。 (3) 高い倫理観を備え、英語圏の言語や文化に関する深い学識と高度な英語運用能力を用いて、社会および学術の発展に寄与しようとする強い意欲をもっている。

【自然科学研究科】

求める学生像
自然科学研究科は、自然科学分野の専門的な知識と技能を修得し、独創性豊かで優れた研究・開発能力をもつ研究者、並びに自然科学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力をもつ高度専門職業人を養成するために下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 自然科学分野の幅広い知識と専攻分野における専門的な知識を修得するため、大学または相当する教育機関において専攻分野に関する基礎的な学力を身につけている。 (2) 自然科学分野における独創性豊かで優れた研究・開発能力を意欲的に身につけることができる。 (3) 自然科学に関係する専門的な業務に従事するために必要な能力と高い倫理観を身につけ、社会に貢献する意欲をもっている。

物理学専攻

求める学生像
物理学専攻では、科学分野の幅広い知識と物理学分野における専門的な知識を有し、専門的な業務に従事するに必要な能力または独創性豊かで優れた研究開発能力を身につけ、かつ高い倫理観を備え国際社会に適応する人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）科学分野の幅広い知識と物理学分野における高度な専門的知識・技術を修得するため、大学または相当する教育機関において、物理学に関する基礎的な学力を身につけている。 （２）物理学分野における研究開発能力を得るために、高度で幅広い専門的知識と技術および論理的思考力を身につけることができる。 （３）高度職業人または研究者として独創性豊かで優れた研究開発能力と高い倫理観を備え、問題を発見し解決する意欲、国際社会に適応する意欲をもっている。

化学専攻

求める学生像
化学専攻では、自然科学分野の幅広い知識と化学分野における専門的な知識を有し、専門的な業務に従事するに必要な能力又は独創性豊かで優れた研究・開発能力を身につけ、かつ、高い倫理観を備えた人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲を持つ学生を求めます。 （１）自然科学分野の幅広い知識と化学分野における高度な専門的知識を修得するため、大学または相当する教育機関において、化学に関する基礎的な学力を身につけている。 （２）化学分野における高度専門職業人又は自立した研究者として、必要な能力を意欲的に身につけることができる。 （３）化学に関係する独創性豊かで優れた研究・開発能力と高い倫理観を身につけ、社会に貢献する意欲をもっている。

生物学専攻

求める学生像
生物学専攻は、自然科学分野の専門的な知識と技能を修得し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者、並びに生物学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）自然科学分野の幅広い知識と生物学分野における高度な専門的知識を修得するため、大学または相当する教育機関において生物学分野に関する基礎的な学力を身につけている。 （２）生物学分野における独創性豊かで優れた研究・開発能力を意欲的に身につけることができる。 （３）生物学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力と高い倫理観を身につけ、社会に貢献する意欲をもっている。

知能情報学専攻

求める学生像
知能情報学専攻では、知能情報学分野における基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識や技術を修得し、同分野における研究能力を有し、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高度な倫理観を備え、国際情報社会でリーダーシップをとれる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）知能情報学分野における高度な専門的知識や技術を修得するため、大学または相当する教育機関において、知能情報学に関する基礎的な学力を身につけている。 （２）知能情報学分野における研究能力を得るために、基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識や技術を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 （３）知能情報学分野において、高度な専門性が求められる職業を担い、高い倫理観を備え、国際情報社会のリーダーとして問題解決と発展に貢献する意欲をもっている。

【社会科学研究科】

求める学生像
社会科学研究科では、経済・経営・税務分野における専門的知識・技能を修得し、高い倫理観を意識しながらそれらを総合的に活用し社会生活に貢献できる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）広い視野に立った経済・経営・税務問題への興味と関心をもち、大学または相当する教育機関においてそれらに関する専門的知識・技能を身につけている。 （２）社会で求められる倫理観を意識しながら、豊かな個性を活用して広く社会に貢献する意欲をもっている。 （３）各専攻分野において、高度な専門性が求められる職業を担い、高い倫理観を備え、各分野におけるリーダーとして、問題解決と社会の発展に貢献する意欲をもっている。

経済学専攻

求める学生像
経済学専攻では、高度に専門的な内容の学修を通じて、経済・社会問題や税務問題を的確に捉え、論理的かつ体系的に思考し、自らの力で解決策を示すことができるとともに、高い倫理観をもって社会に貢献できる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）経済・社会問題や税務問題に興味と関心をもち、大学または相当する教育機関においてそれらの問題を的確に捉える基礎的な知識と学力を身につけている。 （２）経済・社会問題や税務問題を論理的かつ体系的に思考する力を身につけることができる。 （３）高い倫理観をもって自ら率先して社会に貢献する意欲をもっている。

経営学専攻

求める学生像
経営学専攻修士課程では、社会変化に対応して創造性ある問題解決能力を発揮する高度専門職業人、経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を有した人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）経営学分野における高度な専門的知識・理解力を修得するため、大学または相当する教育機関において、経営学に関する幅広く基礎的な学力を身につけている。 （２）経営学分野における研究能力を得るために、基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識や技能を、主体的に身につけることができる。 （３）経営学分野において、高い倫理観と豊かな個性を備え、国際社会のリーダーとして社会に貢献する意欲をもっている。

【フロンティアサイエンス研究科】

生命化学専攻

求める学生像
フロンティアサイエンス研究科生命化学専攻では、ナノバイオ分野に関する専門的知識と技能をバランス良く修得し、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高度な倫理観を備え、先進の科学技術を自在に扱うことのできる自立した研究者や産業界でリーダーとなる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 （１）ナノバイオ分野における高度な専門的知識や技術を修得するため、大学またはそれに相当する教育機関において、バイオテクノロジーやナノテクノロジー、ナノバイオに関する幅広く基礎的な学力を身につけている。 （２）ナノバイオ分野における研究能力を得るために、基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識や技術を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 （３）ナノバイオ分野において、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高い倫理観を備え、先進の科学技術を自在に扱うことのできる自立した研究者や産業界におけるリーダーとして社会に貢献する意欲をもっている。

甲南大学大学院 博士後期課程 入学者受入の方針 — アドミッション・ポリシー —

求める学生像

甲南大学大学院博士後期課程では、各専攻分野における深く高度な専門的知識・技能を修得し、各専攻分野における高く独創的な研究能力を有し、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高度な倫理観を備え、各分野でリーダーシップをとれる研究者を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。

- (1) 各専攻分野における深く高度な専門的知識・技能を修得するため、大学院修士課程または相当する研究機関において各専攻分野に関する幅広く高度な専門的知識・技能を身につけている。
- (2) 各専攻分野において、卓越した問題発掘・解決能力を有する研究者になるため、深く高度な専門的知識・技能を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。
- (3) 各専攻分野において、高度で優れた研究・開発ができる能力と高い倫理観を備え、各分野におけるリーダーとして、問題解決と社会の発展に貢献する意欲をもっている。

【人文科学研究科】

求める学生像
人文科学研究科博士後期課程では、人文科学の4つの領域における深く高度な専門的知識・技能を習得し、それぞれの領域における独創的で卓越した研究能力を有し、高い倫理観を備えて学術の発展・向上に寄与できる研究者または高度専門職業人を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 人文科学分野における深く高度な専門的知識・技能を習得するため、大学院修士課程または相当する研究機関において、人文諸科学に関する幅広い学識を身につけている。 (2) 人文科学分野において、独創的な研究を展開する自立した研究者または高度専門職業人になるため、豊かな学識と技能を身につけようとする主体性と意欲をもっている。 (3) 人文科学分野において、研究者または高度専門職業人に求められる卓越した能力と高い倫理観を備え、学界及び社会の発展に貢献する意欲をもっている。

英語英米文学専攻

求める学生像
英語英米文学専攻では、英語学、英米文学・文化に関する深い学識、高度な英語運用能力、高い倫理観を兼ね備え、独創的な研究を遂行してグローバルに活躍できる研究者または高度専門職業人を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 高度な英語力を駆使して英語学、英米文学・文化に関する幅広い知識を修得し、高度な研究を遂行するため、大学院修士課程または相当する研究機関において、十分な専門知識と研究技能を身につけている。 (2) 高度な英語力を駆使して英語学、英米文学・文化に関する豊かな学識を培い、独創的な研究を遂行するために、授業内外での課題の遂行のみならず学内外の研究活動にも積極的に参加し自立心、倫理観、積極性を養おうとする熱意を有している。 (3) 高い倫理観を備え、英語学、英米文学・文化に関する深い学識と高度な英語力を駆使し、研究者または高度専門職業人として学術および社会の発展に寄与しようとする強い意欲をもっている。

日本語日本文学専攻

求める学生像
日本語日本文学専攻では、日本語学・日本語教育学・日本文学の各研究分野における高度な専門的知識を基盤とした研究能力を有し、かつ、独自の研究方法に基づく研究を遂行するうえでの高い倫理観を備え、修了後には研究者または高度専門職業人として社会および学術の発展、向上に寄与できる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 日本語学・日本語教育学・日本文学の各研究分野における高度な専門的知識を、大学院修士課程または相当する研究機関において身につけている。さらに、独自の研究方法をすでに具備している。 (2) 新規性、進歩性、有用性、独創性、発展性、資料性等において優れた特徴を有する博士論文を執筆すべく研究を推進する能力を有している。さらに、高い倫理観を備えて自律的に研究を推進することができる。 (3) 博士学位取得後には研究者または高度専門職業人として、日本語学・日本語教育学・日本文学の各研究の学術的発展に貢献できる。さらには社会の発展・向上に寄与できる人材となることができる。

応用社会学専攻

求める学生像
応用社会学専攻では、包括的な理論と精緻な資料・文献の分析に基づく研究によって、自立した研究者または高度専門職業人として必要な独創的な研究能力ならびに卓越した技能を身につけ、それに相応しい広い視野と高い倫理観を備えた人材を育成するために、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 大学院修士課程または相当する研究機関において社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関して研究を展開する独創的な能力、専門的な業務に従事できる卓越した技能、広い視野と高い倫理観を備えるための高度な学力を身につけている。 (2) 入学後に社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関して研究を展開する独創的な能力、専門的な業務に従事できる卓越した技能、広い視野と高い倫理観を備える意欲があり、それらを身につけることができる。 (3) 高度な専門性、独創性、情報収集力、分析・論理力、コミュニケーション力の証となる博士論文を執筆する能力を身につけ、自立した研究者または高度専門職業人となる意欲をもっている。

人間科学専攻

求める学生像
人間科学専攻においては、甲南大学教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、心理臨床専修、環境・芸術・思想専修のいずれかの分野における学術の理論と応用を研究し、その深奥をさぐめ、またはいずれかの分野で高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を持ち、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献する研究者を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) いずれかの分野における深く高度な専門的知識や技能を修得するため、大学院修士課程または相当する研究機関において、幅広く高度な知識と技能を身につけている。 (2) いずれかの分野において高度な研究能力を身につけ、先行研究を踏まえて、独創性、有用性、発展性を備えた優れた博士論文を執筆する研究者となるため、深く高度な専門的知識や技能を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 (3) いずれかの分野の発展に貢献するとともに、高い倫理観を身につけ積極的に社会貢献する意欲をもっている。

【自然科学研究科】

求める学生像
自然科学研究科は、自然科学分野の専門的な知識と技能を修得し、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力をもつ研究者、並びに自然科学に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力をもつ高度専門職業人を養成するために下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 専攻分野における専門的な深く高度な知識を修得するため、自然科学分野の幅広い知識と大学院修士課程または相当する研究機関において修士課程修了に相当する十分な基礎のおよび専門的な学力を身につけている。 (2) 優れた独創的研究・開発を自立して行うことができる研究者になるため高度な専門的知識や技術を、主体性をもって意欲的に身につけることができる。 (3) 自然科学に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力と高い倫理観を身につけ、社会に貢献する強い意志をもっている。

物理学専攻

求める学生像
物理学専攻では、物理学分野における深い知識を有し、自立して独創的な研究をおこない物理学分野を開拓・深化させる能力、ならびに、物理学に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な能力を身につけ、かつ、高度な倫理観を備え、国際社会で活躍できる人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 物理学分野における優れて高度な専門的知識と技術を修得するため、大学院修士課程または相当する研究機関において、物理学に関する幅広く高度な知識と技術を身につけている。 (2) 物理学分野における独創的な研究開発能力を得るために、優れて高度な専門的知識と技術および論理的思考力を身につけることができる。 (3) 高度に専門的な職業人または研究者として独創的な研究開発能力と高度な倫理観を備え、新しい研究分野を創出し問題を発見し解決する意欲、国際社会で活躍する意欲をもっている。

生命・機能科学専攻

求める学生像
生命・機能科学専攻は、化学、生物学及びその複合領域において、専門的で深い知識を有し、生命科学と機能科学の有機的複合領域の分野を開拓・深化し、自立して独創的な研究を行う能力、並びにこれらの諸分野に係る高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を身につけ、かつ、高度な倫理観を備えた人材を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 大学院修士課程または相当する研究機関において、生命・機能科学分野における専門的な深い知識を身につけている。 (2) 生命・機能科学分野における研究能力を得るために、基礎から応用までの幅広く高度な専門的知識や技術を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 (3) 生命・機能科学分野において、高度な専門性が求められる職業を担い、高い倫理観を備え、化学、生物学及びその複合領域を担う国際的リーダーとして問題解決と発展に貢献する意欲をもっている。

知能情報学専攻

求める学生像
知能情報学専攻では、知能情報学分野における深く高度な専門的知識や技術を修得し、同分野における高く独創的な研究能力を有し、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高度な倫理観を備え、国際情報社会でリーダーシップをとれる研究者を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 知能情報学分野における深く高度な専門的知識や技術を修得するため、大学院修士課程または相当する研究機関において、知能情報学に関する幅広く高度な知識と技術を身につけている。 (2) 知能情報学分野において、独創性豊かな問題発掘・解決能力を有する自立した研究者になるため、深く高度な専門的知識や技術を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 (3) 知能情報学分野において、高度で優れた研究・開発ができる能力と高い倫理観を備え、国際情報社会のリーダーとして問題解決と発展に貢献する意欲をもっている。

【社会科学研究科】

経営学専攻

求める学生像
経営学専攻博士後期課程では、社会変化に対応して創造性ある問題解決能力を発揮する高度専門職業人ならびに経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を有した研究者の養成を目指し、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) 経営学分野における極めて高度な専門的知識・理解力を修得するため、大学院修士課程または相当する研究機関において、分野に関する専門的学力と研究能力を身につけている。 (2) 経営学分野における博士としての研究能力を得るために、極めて高度な専門的知識や技能を、主体的に身につけることができる。 (3) 経営学分野において、高い倫理観と豊かな個性を備え、国際社会の優れたリーダーとして社会に貢献する意欲をもっている。

【フロンティアサイエンス研究科】

生命化学専攻

求める学生像
フロンティアサイエンス研究科生命化学専攻では、ナノバイオ分野に関する専門的知識と技能をバランス良く修得し、高度な専門性が求められる職業を担う能力と高度な倫理観を備え、自らが最先端科学技術を創出し、科学の新たな分野を開拓できる先端的研究者を養成するため、下記の能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。 (1) ナノバイオ分野における最先端の専門的知識や技能を修得するため、大学院修士課程またはそれに相当する研究機関において、ナノバイオに関する幅広く高度な知識と技術を身につけている。 (2) ナノバイオ分野において、独創性豊かな問題発掘・解決能力を有する研究者になるため、深く高度な専門的知識や技能を、主体性を持って意欲的に身につけることができる。 (3) ナノバイオ分野において、高度で優れた研究・開発ができる能力と高い倫理観を備え、最先端科学技術を創出し、科学の新たな分野を開拓することで社会に貢献する意欲をもっている。

1. 趣 旨

甲南大学大学院は、甲南大学の教育精神に基づき、一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教育研究し、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的とします。博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養うものとします。博士課程は、これを前期2年及び後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は、これを修士課程として取り扱うものとします。修士課程は、学部における一般的ならびに専門的教養を基礎とし、さらに専攻分野を研究し、精深な学識と研究能力とを養うものとします。

2019年度大学院の学生は、以下の要領により募集を行います。ただし、博士課程を設置する研究科・専攻においてはその前期2年を修士課程とし、後期3年を博士後期課程として募集します。なお、博士課程を設置しない専攻においては、すべて修士課程として募集します。

2. 入学定員・募集区分

修士課程

研 究 科	専 攻	入学定員	一 般		社 会 人	
			1次募集	2次募集	1次募集	2次募集
人 文 科 学 研 究 科	日本語日本文学専攻	専門探究コース 多元教養コース 5名	○	○	○	○
	英語英米文学専攻	専門探究コース 多元教養コース 6名				
	応用社会学専攻	専門探究コース 多元教養コース 5名				
	人間科学 専 攻	環境・芸術・ 思想専修 専門探究コース 多元教養コース 2名				
		心理臨床専修 8名				
自 然 科 学 研 究 科	物理学専攻	12名	○	○	○	○
	化学専攻	12名				
	生物学専攻	5名				
	知能情報学専攻	6名				
社 会 科 学 研 究 科	経済学 専 攻	研究コース	○	○	○	○
		税理コース	○	○	—	—
	経営学 専 攻	経営学コース	○	○	—	—
		ビジネスコース	—	—	○	○
フロンティア 研 究 科	生命化学専攻	10名	○	○	○	○

- (注) 1. 入学定員は、1次募集と2次募集を合わせたものです。選考の結果によっては、合格者が入学定員に達しない場合があります。
2. 社会人を対象とした入学試験（以下、「社会人入試」という。）の募集人員は、各専攻とも若干名とし、入学定員に含みます。
3. 1次募集の結果、入学手続き数が入学定員に達した場合は、2次募集を実施しない場合があります。2次募集の実施については、11月上旬に大学院入試情報サイトでお知らせします。
4. 社会科学部研究科経営学専攻において、「一般」で出願する場合は経営学コースに、「社会人」で出願する場合はビジネスコースになります。
5. 社会科学部研究科経営学専攻を志願する者は、希望する科目（演習テーマ）が開講されているかどうか、出願前に必ず経営学専攻に問い合わせてください。
6. 大学院入学にあたり在留資格「留学」を必要とする者は、在留資格申請手続きの期間を考慮し、できるだけ1次募集で出願してください。2次募集で出願する場合は、出願以前にアドミッションセンターに相談してください。

博士後期課程

研 究 科	専 攻	入学定員	一 般	社 会 人
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	2 名	○	—
	英語英米文学専攻	3 名		
	応用社会学専攻	2 名		
	人間科学専攻	3 名		
自然科学研究科	物理学専攻	3 名	○	○
	生命・機能科学専攻	3 名		
	知能情報学専攻	2 名		
社会科学研究科	経営学専攻	3 名	○	○
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	1 名	○	○

- (注) 1. 入学定員は、一般と社会人を合わせたものです。
 2. 社会人を対象とした入学試験（以下、「社会人入試」という。）の募集人員は、各専攻とも若干名とし、入学定員に含みます。
 3. 選考の結果によっては、合格者が入学定員に達しない場合があります。
 4. 社会科学研究科経営学専攻を志願する者は、希望する科目（演習テーマ）が開講されているかどうか、出願前に必ず経営学専攻に問い合わせてください。
 5. 大学院入学にあたり在留資格「留学」を必要とする場合は、出願以前にアドミッションセンターに相談してください。

3. 修士課程（一般）

(1) 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ①大学を卒業した者及び2019年3月末日までに卒業見込みの者
- ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月末日までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月末日までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2019年3月末日までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2019年3月末日までに修了見込みの者（自然科学研究科及びフロンティアサイエンス研究科は除く。）
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、22歳に達した者

- (注) 1. 上記⑦～⑨の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の1箇月前までに（社会科学研究科経営学専攻にあつては出願開始日の2箇月前までに）提出してください。
 2. 上記⑨について、社会科学研究科経済学専攻は、飛び級により大学院に入学した者で大学院を修了した者もしくは修了見込みの者は、出願資格があるとみなします。

(2) 出願書類

下記の出願書類を市販の封筒に入れ、出願期間内に郵便局から簡易書留速達で郵送してください。封筒のサイズは定型『長形 3 号』（235mm×120mm）もしくは『角形 2 号』（240mm×332mm）とします。

必要書類	募集区分
	一般入試
顔写真	○
卒業証明書・卒業見込証明書	○
成績証明書	○
専攻分野及び受験科目調査票（本学所定用紙）	○
志望理由書（1,000字程度）	○ （日本語日本文学専攻専門探究コース、応用社会学専攻専門探究コース、人間科学専攻環境・芸術・思想専修専門探究コース、経済学専攻を除く）
卒業論文（またはそれに相当する論文）の要約（1,200字程度）	○ （応用社会学専攻）
研究計画書（本学所定用紙）	○ （日本語日本文学専攻専門探究コース、応用社会学専攻専門探究コース、人間科学専攻環境・芸術・思想専修専門探究コース） （社会科学研究科）

- （注）1. 成績証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを確認できる公的書類を添付してください（コピー可）。
2. 出願時点で大学院に在籍する者は、大学の卒業証明書と大学院の修了見込証明書を提出してください。修了見込証明書が提出できない場合は、在籍している大学院の受験許可書を添えてください。
3. 専攻分野及び受験科目調査票には、選択する受験科目を必ず記入してください。出願後の受験科目の変更は認めません。
4. 人文科学研究科応用社会学専攻志願者で、卒業論文またはそれに相当する論文の要約を提出できない場合は、これまでの研究、活動内容を提出してください。（A 4 用紙に1,200字程度）
5. 社会科学研究科経営学専攻志願者は、入学志願票に職歴をすべて記入してください。記入欄が不足する場合は、市販の履歴書に記入して提出してください。
6. 出願資格のうち、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、出願書類のうち「卒業（見込）証明書」及び「成績証明書」は「出願資格認定書の写し」をもって省略します。
7. 顔写真
・ 出願前に 3 箇月以内に撮影したもの
・ 正面、上半身、脱帽、無背景
・ 縦 4 cm×横 3 cm
・ カラー、白黒どちらでも可。スピード写真でも可。
・ 写真の裏面に氏名を明記してください。

【大学院入学にあたり在留資格「留学」を必要とする場合は、上記の書類に加えて下記の書類を提出してください。】

- (1) 留学にかかる経費負担計画書（本学所定用紙）
- (2) 保証書（本学所定用紙）
- (3) 推薦書（出身校の指導教員が日本語又は英語で作成したもの。本学所定用紙）
- (4) 学歴等調査書（本学所定用紙）
- (5) 日本国内に居住している場合：続柄、国籍等及び在留資格等（在留資格、住民基本台帳法第30条45の規定区分、在留期間、在留期間満了日、在留カード等の番号）が記載された住民票の写し（出願開始日の 3 箇月以内に発行されたもの）
（在留資格「短期滞在」で滞在している者は、当該在留資格の詳細がわかるパスポートのページの写しを提出すること）
日本国外に居住している場合：パスポートの写し（氏名、国籍、旅券番号、顔写真、有効期限が記載されたページ）

（注）(5)項に指定する内容が記載された住民票の写しまたはパスポートの写しのいずれも用意できない場合は、日本政府の承認した外国政府発行の身分証明書を提出してください。

(3) 選考方法

人文科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

専攻等	試験科目・内容	試験時間
日本語日本文学専攻 （専門探究コース）	外国語（英語、中国語、漢文から1科目選択）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	15:30～17:30終了予定
日本語日本文学専攻 （多元教養コース）	小論文	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	15:30～17:30終了予定
英語英米文学専攻 （専門探究コース）	外国語（英語）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
英語英米文学専攻 （多元教養コース）	外国語（英語）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関しての小論文（約2,000字））	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
応用社会学専攻 （専門探究コース）	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
応用社会学専攻 （多元教養コース）	小論文	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
人間科学専攻 （環境・芸術・思想専修） （専門探究コース）	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	9:30～11:00
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定
人間科学専攻 （環境・芸術・思想専修） （多元教養コース）	小論文	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定
人間科学専攻 （心理臨床専修）	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	9:30～11:00
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定

- (注) 1. 日本語日本文学専攻専門探究コースの「外国語」について、外国人受験生（外国籍を有し外国大学において学校教育の課程を修了した者）が外国語として選択できるのは母語以外の言語とします。
2. 外国語試験では、本学が辞書（英和・独和・仏和・中和）を貸与します。ただし、日本語日本文学専攻専門探究コースの「漢文」及び英語英米文学専攻専門探究コースの「英語」では辞書を貸与しません。

自然科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

専攻	試験科目・内容	試験時間
物理学専攻	専門 力学、統計力学（熱力学を含む）、電磁気学、量子力学（量子論を含む）のそれぞれから問う。ただし、2次募集では、卒業研究又はそれに相当する内容に関する小論文も課す	9：00～12：00
	外国語（英語）	13：00～15：00
	口頭試問 専攻しようとする分野に関して行う	15：30～17：30終了予定
化学専攻	専門 物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、高分子化学のそれぞれから問う	9：00～12：00
	外国語（英語）	13：00～15：00
	口頭試問 専攻しようとする分野に関して行う	15：30～17：30終了予定
生物学専攻	専門 生物学	10：00～12：00
	外国語（英語）	13：00～15：00
	口頭試問 専攻しようとする分野に関して行う	15：30～17：30終了予定
知能情報学専攻	専門 【必須問題】 線形代数、微分積分、確率統計、コンピュータサイエンス基礎、プログラミング基礎のそれぞれ1問ずつ計5問 【選択問題】 知能情報学（Webコミュニケーション、ヒューマンインテリジェンス、マシンインテリジェンス）の分野から出題される問題のうち、1問選択	9：00～12：00
	外国語（英語）	13：00～15：00
	口頭試問 専攻しようとする分野に関して行う	15：30～17：30終了予定

（注）外国語試験では、辞書（英和）を貸与します。

社会科学部研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間		試験科目・内容（試験時間）		
専攻・コース		専 門 (10:00～11:00)	外国語もしくは専門 (11:10～12:10)	口 頭 試 問 (13:30～17:30 終了予定)
経済学専攻	研究コース	経済理論、経済史、経済政策から1科目	英 語	専攻しようとする科目などに関して行う
	税理コース	租 税 法	出願時に選択した英語もしくは財政学	

試験科目・内容・試験時間		専 門 (10:00～11:00)	外 国 語 (11:30～12:30)	口 頭 試 問 (13:30～17:30 終了予定)
専攻・コース				
経営学専攻 経営学コース		専攻しようとする科目 (演習テーマ)	英 語	専攻しようとする科目(演習テーマ)などに関して行う

- (注) 1. 経済学専攻は、研究コース、税理コースのいずれかを選択してください。
 2. 経済学専攻税理コースの試験科目は、「専門(租税法)」及び、「外国語(英語)」と「専門(財政学)」のいずれか1科目の計2科目とします。
 3. 経済学専攻税理コース「専門(財政学)」は、財政一般に関する問題と租税論に関する問題のどちらかを選択してください。
 4. 経済学専攻の外国語試験では、辞書(英和)を貸与します。
 5. 経営学専攻の外国語試験では、辞書(英和)の持込使用を認めます。ただし、電子辞書、専門用語辞典の持込使用は認めません。

フロンティアサイエンス研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

専 攻	試験科目・内容・試験時間	専 門 (9:00～12:00)	外 国 語 (13:00～15:00)	口 頭 試 問 (15:30～)
生命化学専攻		化学または生物学	英 語	専攻しようとする分野に関して行う

- (注) 外国語試験では、辞書(英和)を貸与します。

4. 修士課程（社会人）

(1) 出願資格

人文科学研究科・社会科学研究科〔経済学専攻〕

入学時までに2年以上の社会人経験（家事従事等を含む）を有し、次のいずれかに該当する者

- ①大学を卒業した者
- ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、22歳に達した者

（注）上記⑦～⑨の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の1箇月前までに提出してください。書類については、P.26(7)を確認してください。

自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科

次のいずれかに該当する者

- ①入学時に企業等において志望の専攻と関連する職務経歴を2年以上有する者であって、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者で、次のいずれかに該当する者
 - (ア)大学を卒業した者
 - (イ)独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - (ウ)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (エ)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (オ)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (カ)文部科学大臣の指定した者
 - (キ)学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

(ク)個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、22歳に達した者

- ②入学時に企業等において志望の専攻と関連する職務経歴を3年以上有する者であって、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者で、かつ個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、22歳に達した者
(注)上記①(カ)～(ク)及び②の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の1箇月前までに提出してください。書類については、P.26(7)を確認してください。

社会科学部研究科〔経営学専攻 ビジネスコース〕

入学時までに1年以上の社会人経験(家事従事等を含む)を有し、出願時に次のいずれかに該当する者

- ①大学を卒業した者
- ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上でありその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、22歳に達した者

(注)上記⑦～⑨の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の2箇月前までに提出してください。書類については、P.26(8)を確認してください。

(2) 出願書類

下記の出願書類を市販の封筒に入れ、出願期間内に郵便局から簡易書留速達で郵送してください。封筒のサイズは定型『長形 3 号』（235mm×120mm）もしくは『角形 2 号』（240mm×332mm）とします。

必要書類	募集区分
	社会人入試
顔写真	○
卒業証明書	○
成績証明書	○
専攻分野及び受験科目調査票（本学所定用紙）	○
志望理由書（1,000字程度）	○ （日本語日本文学専攻専門探究コース、応用社会学専攻専門探究コース、人間科学専攻環境・芸術・思想専修専門探究コース、経済学専攻を除く）
卒業論文（またはそれに相当する論文）の要約（1,200字程度）	○ （応用社会学専攻）
推薦書（所属長が記入し厳封したもの。）（本学所定用紙）	○ （自然科学研究科） （フロンティアサイエンス研究科）
職務経歴書（本学所定用紙） 研究・業務歴及び研究・業務業績を記入してください。	○ （自然科学研究科） （フロンティアサイエンス研究科）
研究計画書（本学所定用紙） 自然科学研究科及びフロンティアサイエンス研究科志願者は研究指導教員を決め、事前に相談の上、作成してください。	○ （日本語日本文学専攻専門探究コース、応用社会学専攻専門探究コース、人間科学専攻環境・芸術・思想専修専門探究コース） （自然科学研究科） （社会科学研究科） （フロンティアサイエンス研究科）
実務経験レポート（本学所定用紙） 職務経歴や具体的な業務等に関して得た知見について記入してください。	○ （経営学専攻）
課題レポート ＜経済学専攻＞4,000字程度。 ＜経営学専攻＞1,200字程度。 専攻しようとする科目（演習テーマ）に関するもの。A 4 用紙にワープロ書き、題名及び氏名を明記してください。なお、前記レポートに加えて、既発表の論文がある場合には、2 点以内（コピー可）で提出することができます。	○ （社会科学研究科）

- （注） 1. 成績証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを確認できる公的書類を添付してください（コピー可）。
 2. 出願時点で大学院に在籍する者は、大学の卒業証明書と大学院の修了見込証明書を提出してください。修了見込証明書が提出できない場合は、在籍している大学院の受験許可書を添えてください。
 3. 専攻分野及び受験科目調査票には、選択する受験科目を必ず記入してください。出願後の受験科目の変更は認めません。
 4. 人文科学研究科応用社会学専攻志願者で、卒業論文またはそれに相当する論文の要約を提出できない場合は、これまでの研究、活動内容を提出してください。（A 4 用紙に1,200字程度）
 5. 社会科学研究科経営学専攻志願者は、入学志願票に職歴をすべて記入してください。記入欄が不足する場合は、市販の履歴書に記入して提出してください。
 6. 出願資格のうち、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、出願書類のうち「卒業（見込）証明書」及び「成績証明書」は「出願資格認定書の写し」をもって省略します。
 7. 顔写真
 ・ 出願前に 3 箇月以内に撮影したもの
 ・ 正面、上半身、脱帽、無背景
 ・ 縦 4 cm×横 3 cm
 ・ カラー、白黒どちらでも可。スピード写真でも可。
 ・ 写真の裏面に氏名を明記してください。

【大学院入学にあたり在留資格「留学」を必要とする場合は、上記の書類に加えて下記の書類を提出してください。】

- (1) 留学にかかる経費負担計画書（本学所定用紙）
- (2) 保証書（本学所定用紙）

- (3)推薦書（出身校の指導教員が日本語又は英語で作成したもの。本学所定用紙）
- (4)学歴等調査書（本学所定用紙）
- (5)日本国内に居住している場合：続柄、国籍等及び在留資格等（在留資格、住民基本台帳法第30条45の規定区分、在留期間、在留期間満了日、在留カード等の番号）が記載された住民票の写し（出願開始日の3箇月以内に発行されたもの）
（在留資格「短期滞在」で滞在している者は、当該在留資格の詳細がわかるパスポートのページの写しを提出すること）
- 日本国外に居住している場合：パスポートの写し（氏名、国籍、旅券番号、顔写真、有効期限が記載されたページ）

（注）(5)に指定する内容が記載された住民票の写しまたはパスポートの写しのいずれも用意できない場合は、日本政府の承認した外国政府発行の身分証明書を提出してください。

(3) 選考方法

人文科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

専攻等	試験科目・内容	試験時間
日本語日本文学専攻 （専門探究コース）	小論文	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	15:30～17:30終了予定
日本語日本文学専攻 （多元教養コース）	専門（専攻しようとする分野に関しての小論文）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	15:30～17:30終了予定
英語英米文学専攻 （専門探究コース）	外国語（英語）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関しての小論文（約2,000字））	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
英語英米文学専攻 （多元教養コース）	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
応用社会学専攻 （専門探究コース）	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
応用社会学専攻 （多元教養コース）	小論文	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
人間科学専攻 （環境・芸術・思想専修） （専門探究コース）	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	9:30～11:00
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定
人間科学専攻 （環境・芸術・思想専修） （多元教養コース）	小論文	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定
	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	9:30～11:00
人間科学専攻 （心理臨床専修）	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う） ※受験者多数の場合、筆記試験の結果に基づいて第1次選考を行い、第1次選考合格者にのみ口頭試問を実施します。	15:00～17:00終了予定

（注）1. 外国語試験では、本学が辞書（英和・独和・仏和）を貸与します。

自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間		□ 頭 試 問 (15:30～)
研究科・専攻		
自然科学研究科	物 理 学 専 攻	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究・業務業績、将来の研究計画等を中心に行う
	化 学 専 攻	
	生 物 学 専 攻	
	知 能 情 報 学 専 攻	
フロンティアサイエンス研究科	生 命 化 学 専 攻	

社会科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間		□ 頭 試 問 (13:00～)
専攻・コース		
経 済 学 専 攻 研 究 コ ー ス	専攻しようとする科目（演習テーマ）、課題レポートなどに関して行う	
経 営 学 専 攻 ビ ジ ネ ス コ ー ス		

- (注) 1. 専攻しようとする科目（演習テーマ）は、出願書類の「専攻分野及び受験科目調査票」において選択した科目（経営学専攻ビジネスコースは第2希望まで）を指します。
2. 所属する演習は、合格発表時に連絡します。

5. 博士後期課程（一般）

(1) 出願資格

人文科学研究科

次のいずれかに該当する者

- ①修士または専門職の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ②外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに学位を授与される見込みの者
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24歳に達した者

(注) 上記⑤⑥の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の1箇月前までに提出してください。書類については、P.26(7)を確認してください。

自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科

次のいずれかに該当する者

- ①修士の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ②外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに学位を授与される見込みの者
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24歳に達した者
- ⑦大学卒業後、大学・研究所等において2年以上の研究歴を有する者

(注) 上記⑤⑥の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の1箇月前までに提出してください。書類については、P.26(7)を確認してください。

社会科学部研究科

次のいずれかに該当する者

- ①修士または専門職の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ②外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに学位を授与される見込みの者
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24歳に達した者

(注) 上記⑤⑥の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の2箇月前までに提出してください。書類については、P.26(8)を確認してください。

(2) 出願書類

下記の出願書類を市販の封筒に入れ、出願期間内に郵便局から簡易書留速達で郵送してください。封筒のサイズは定型『長形3号』(235mm×120mm)もしくは『角形2号』(240mm×332mm)とします。

全研究科・専攻 共通

①顔写真

- ・ 出願前に3箇月以内に撮影したもの
- ・ 正面、上半身、脱帽、無背景
- ・ 縦4cm×横3cm
- ・ カラー、白黒どちらでも可。スピード写真でも可。
- ・ 写真の裏面に氏名を明記してください。

②修了(見込)証明書

現在、他の大学院に在籍する者で、修了見込証明書が提出できない場合は、在籍している大学院の受験許可書を提出してください。

③成績証明書

成績証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを確認できる公的書類を添付してください(コピー可)。

④専攻分野及び受験科目調査票(本学所定用紙)

選択する受験科目を必ず記入してください。なお、出願後の受験科目の変更は認めません。

⑤修士論文等

人文科学研究科	日本語日本文学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（2,000字以内）。
	応用社会学専攻	
	英語英米文学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその英文要旨（800語程度）。
	人間科学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（2,000字以内）。
自然科学研究科	物理学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（和文で1,000字程度）。
	生命・機能科学専攻	
	知能情報学専攻	
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	
社会科学研究科	経営学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（2,000字以内）。

（注）本学人文科学研究科の修士課程修了（見込み）者は、修士論文の写しを提出する必要はありません。

人文科学研究科〔応用社会学専攻〕・社会科学研究科〔経営学専攻〕・フロンティアサイエンス研究科

⑥研究計画書（本学所定用紙）

（注）出願資格のうち、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、出願書類のうち「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」は「出願資格認定書の写し」をもって省略します。

(3) 選考方法

人文科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

専攻等	試験科目・内容	試験時間
日本語日本文学専攻	外国語（英語、中国語、漢文から1科目選択）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	15:30～17:30終了予定
英語英米文学専攻	外国語（ドイツ語、フランス語から1科目選択 及び英語）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
応用社会学専攻	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	10:00～11:30
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	13:00～14:30
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～17:30終了予定
人間科学専攻 （環境・芸術・思想専修）	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	9:30～11:00
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～18:00終了予定
人間科学専攻 （心理臨床専修）	外国語（英語、ドイツ語、フランス語から1科目選択）	9:30～11:00
	専門（専攻しようとする分野に関して行う）	11:30～13:00
	口頭試問（専攻しようとする分野に関して行う）	16:00～18:00終了予定

（注）外国語試験では、本学が辞書（英和・独和・仏和・中日）を貸与します。ただし、日本語日本文学専攻の「漢文」及び英語英米文学専攻の「英語」では、辞書を貸与しません。

自然科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間 専 攻	外 国 語 (10:00~12:00)	専 門 (13:00~15:00終了予定)
物 理 学 専 攻	英語	修士論文または研究成果を中心に口述により行う。ただし、志願者多数の場合は筆記試験を課すことがある。
生 命 ・ 機 能 科 学 専 攻		
知 能 情 報 学 専 攻		

社会科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間 専 攻	外 国 語 (10:30~12:00)	口 頭 試 問 (13:00~)
経 営 学 専 攻	英語	修士論文または研究成果を中心に口述により行う

- (注) 1. 経営学専攻の外国語試験では、辞書(英和)の持込使用を認めます。ただし、電子辞書、専門用語辞典の持込使用は認めません。
2. 経営学専攻を志願する者は、専攻しようとする科目(演習テーマ)が開講されるかどうか、出願前に必ず経営学専攻に問い合わせてください。

フロンティアサイエンス研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間 専 攻	口 頭 試 問 (10:00~)
生 命 化 学 専 攻	修士論文または研究成果を中心に口述により行う

6. 博士後期課程（社会人）

(1) 出願資格

自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科

次のいずれかに該当する者

- ①入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を2年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、所属長より推薦を受けた者で、次のいずれかに該当する者
 - (ア) 修士の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (イ) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (ウ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (エ) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (オ) 文部科学大臣の指定した者
 - (カ) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24歳に達した者
- ②入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を大学卒業後3年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、所属長より推薦を受けた者で、次のいずれかに該当する者
 - (ア) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、25歳に達した者
 - (イ) 学術報告、著書等により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

※上記①(オ) (カ) 及び②の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の1箇月前までに提出してください。書類については、P.26 (7) を確認してください。

社会科学研究科

次のいずれかに該当する者

- ①入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を2年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、出願時に次のいずれかに該当する者
 - (ア) 修士または専門職の学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (イ) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (ウ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び2019年3月末日までに授与される見込みの者
 - (エ) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び2019年

3月末日までに授与される見込みの者

(オ) 文部科学大臣の指定した者

②入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を大学卒業後3年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、出願時に次のいずれかに該当する者

(ア) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

(イ) 学術報告、著書等により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

※上記①(オ)または②の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の2箇月前までに提出してください。書類については、P.26(8)を確認してください。

③入学時までに20年以上の社会人経験(家事従事者を含む)を有し、次のいずれかに該当する者

(ア) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

(イ) 学術報告、著書等により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者

※上記③の資格によって出願資格の認定を希望する者は、アドミッションセンターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の2箇月前までに提出してください。書類については、P.26(8)を確認してください。

(2) 出願書類

下記の出願書類を市販の封筒に入れ、出願期間内に郵便局から簡易書留速達で郵送してください。封筒のサイズは定型『長形3号』(235mm×120mm)もしくは『角形2号』(240mm×332mm)とします。

①顔写真

- ・ 出願前に3箇月以内に撮影したもの
- ・ 正面、上半身、脱帽、無背景
- ・ 縦4cm×横3cm
- ・ カラー、白黒どちらでも可。スピード写真でも可。
- ・ 写真の裏面に氏名を明記してください。

②修了(見込)証明書

③成績証明書

成績証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを確認できる公的書類を添付してください(コピー可)。

④専攻分野及び受験科目調査票(本学所定用紙)

選択する受験科目を必ず記入してください。なお、出願後の受験科目の変更は認めません。

⑤研究計画書(本学所定用紙)

研究指導教員を決め、事前に相談の上、作成してください。ただし、社会科学研究科経営学専攻では、研究指導教員に事前に相談する必要はありません。

⑥推薦書(本学所定用紙)

所属長等が記入し厳封したもの。ただし、社会科学研究科経営学専攻を除きます。

⑦職務経歴書(本学所定用紙)

研究・業務歴及び研究・業務業績を記入してください。

⑧修士論文等

修士論文の写し（またはこれに代わるもの）、学術論文等の関係資料の別刷または写しを提出してください。

- (注) 1. 出願資格のうち、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、出願書のうち「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」は「出願資格認定書の写し」をもって省略します。
2. 社会科学部研究科経営学専攻において、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、（注）1に加え、「修士論文等」の提出も不要とする。書類については、P.26（8）を確認してください。

(3) 選考方法

自然科学研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間 専攻	口頭試験 (15:30～)
物理学専攻 生命・機能科学専攻 知能情報学専攻	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究・業務業績、将来の研究計画等を中心に行う

社会科学部研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間 専攻	口頭試験 (13:00～)
経営学専攻	研究分野に関連した科目（演習テーマ）についての専門的学力、修士論文、研究・業務業績、将来の研究計画等を中心に行う

(注) 経営学専攻を志願する者は、専攻しようとする科目（演習テーマ）が開講されるかどうか、出願前に必ず経営学専攻に問い合わせてください。

フロンティアサイエンス研究科

選考は、下記の試験結果及び出願書類により総合的に行います。

試験科目・内容・試験時間

試験科目・内容・試験時間 専攻	口頭試験 (10:00～)
生命化学専攻	修士論文または研究成果を中心にして口述により行う

7. 出願共通事項

インターネット出願のみとなります

(1) 出願期間

課 程	募 集 区 分	出 願 期 間
修 士 課 程	1 次 募 集	7月30日(月)～8月6日(月) 出願書類の郵送期限：(6日消印有効)
	2 次 募 集	1月16日(水)～1月25日(金) 出願書類の郵送期限：(25日消印有効)
博士後期課程	—	1月16日(水)～1月25日(金) 出願書類の郵送期限：(25日消印有効)

(2) 入学検定料 35,000円

納入が完了した検定料は返還いたしません。

(3) 試験場

研 究 科	試 験 場
人文科学研究科・自然科学研究科・ 社会科学研究科	甲南大学岡本キャンパス
フロンティアサイエンス研究科	甲南大学ポートアイランドキャンパス

(注) 試験室・口頭試問室等は、試験当日、掲示します。

(4) 試験場の注意事項

- ①各試験場は8時30分に開場します。それ以前に試験場に到着しても、建物内へ入ることはできません。
- ②受験票は必ず持参してください。
- ③自動車やバイク、自転車等は使用せず、必ず公共の交通機関を利用もしくは徒歩でお越しください。
- ④本学の試験場については、最終頁の「アクセスガイド」で確認してください。

(5) 出願方法

甲南大学の受験には **UCARO** の会員登録が必要です。

UCARO(ウカロ)では、受験番号照会、合否照会、大学からのお知らせの確認などを行うことが可能です。会員登録するだけでこれらの機能が簡単に使えます。

1. <https://www.ucaro.net/>にスマートフォンまたはパソコンからアクセスしてください。
2. 会員登録に必要なのはメールアドレスだけです。
3. 会員登録と合わせて、アカウント情報(氏名・住所等)を登録しておくとインターネット出願時に個人情報の入力の手間を省くことができます。



<https://www.ucaro.net/>

UCAROについてのお問い合わせ先：050-3786-5524（受付時間：10時00分～18時00分）

出願の流れ

1. 事前準備

- ・インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットの準備
※自宅にない場合でも、インターネットを利用できる環境であれば、自宅外でも出願は可能です。
- ・プリンターの準備
※プリンターがない場合でも出願は可能ですが、出願書類の印刷ができない場合は、アドミッションセンターまで問い合わせてください。
- ・必要書類の準備
- ・メールアドレスの準備
インターネット出願を行うためにはメールアドレスが必要です。登録いただいたメールアドレスには、「登録完了」及び「入金完了」の通知を配信します。そのため、携帯電話、スマートフォン等、普段よく見るメールアドレスを登録されることをお勧めします。
※登録いただいたメールアドレスには、大学からお知らせを配信することがあります。

2. インターネット出願サイトにアクセス

- ・甲南大学のホームページから、インターネット出願サイトにアクセスしてください。

(インターネット出願サイトは6月下旬頃に開設予定)

【出願サイト】

<https://www.univ-jp.com/konan/top/>



※画面イメージは変更となる可能性があります。

3. インターネット出願の流れを確認

- ・インターネット出願サイトトップページの「インターネット出願の流れ」をよく読んで、出願完了までの手続の流れを確認してください。

※インターネット出願は24時間可能ですが、出願期間最終日におけるインターネット出願の受付は23時00分まで、入学検定料の支払い(店頭の端末操作を含む)は23時30分までです。

また、出願を完了させるためには、出願期間内の消印で必要書類を郵送する必要があります。

4. 出願内容の入力・確認

①出願する入試制度を選択

「出願登録する」をクリックし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

②出願書類の確認

画面に表示される出願書類を全て提出してください。画面の指示に従って、過不足なく出願書類を提出してください。出願書類に不備がある場合は、出願を受け付けることができません。

③入学検定料支払い方法の確認

④出願番号を控える

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※出願に関するお問い合わせ、登録内容の確認等に使用する番号です。必ずメモを取るようにしてください。



※画面イメージは変更となる可能性があります。

出願内容を確認・変更する方法について

出願登録を完了させた出願内容は、インターネット出願サイトトップページの「出願内容を確認・変更する(ログイン)」より確認・変更することが可能です。出願内容を変更した場合は、出願番号が変更されます。変更後の出願番号および払込票により、入学検定料の支払い手続きをしてください。なお、入学検定料支払い完了後は、出願内容を変更することができませんのでご注意ください。



※画面イメージは変更となる可能性があります。

5. 入学検定料の支払い

- ・コンビニエンスストア、Pay-easy対応金融機関ATM、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかで入学検定料を支払ってください。支払方法の詳細は「出願内容を確認・変更する(ログイン)」より確認できます。

なお、入学検定料支払い完了後は、出願内容を変更することはできません。必ず支払い前に登録内容に不備がないことを確認してください。

- ・入学検定料支払い手数料(税込)

支払方法	検定料	手数料
コンビニ、Pay-easy、ネットバンキング	35,000円	324円
クレジットカード	35,000円	886円

※出願期間最終日における入学検定料の支払い(店頭の端末操作を含む)は23時30分までです。

入学検定料支払い時の領収書、利用明細書等は必ず手元で保管してください。大学に電話を頂いても、入金状況の確認等には応じられません。

6. 出願書類の郵送

- ・ 4. ②で確認した出願書類を市販の封筒に入れ、出願期間内に郵便局から簡易書留速達で郵送してください。出願書類の郵送は、出願期間最終日の消印分までを有効とします。出願期間外のものを受け付けることができません。

【出願書類の送付先について】

- ◆出願内容確認画面で宛名ラベルを印刷する場合
印刷した宛名ラベルを封筒に貼り付けてください。

- ◆宛名ラベルを使用しない場合

下記の送付先に郵送してください。また、裏面にも必要事項を記入してください。

【送付先】

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
甲南大学アドミッションセンター 宛

【裏面の記載事項】

本人住所、氏名、出願番号、出願する入試制度

郵便局で発行される簡易書留の受領書は必ず手元で保管してください。
大学に電話を頂いても、郵便の到着確認等には応じられません。

7. 出願完了

【困ったときは】

- ◆インターネット出願、入学検定料の納入に関するお問い合わせ先
インターネット出願ヘルプデスク
TEL 050-3786-5124（平日 10時00分～18時00分）※出願期間中のみ受け付けています。
- ◆入試制度・その他に関するお問い合わせ先
甲南大学アドミッションセンター
TEL 078-435-2319（受付時間 月～金曜日 9時00分～17時00分 / 土曜日 9時00分～13時00分）

8. 受 験

(1) 受験番号の通知

受験番号の通知方法は、次の通りです。

受験票の郵送

受験票は、以下の日程に普通郵便で発送する予定です。

修士課程（1次募集）：8月23日（木）

修士課程（2次募集）、博士後期課程：2月8日（金）

受験票が試験前日になっても届かない場合は、必ずアドミッションセンターに問い合わせてください。

受験番号照会

受験ポータルサイト【UCARO】の受験番号照会は各受験票発送日の11時00分に開始予定です。

(2) 受験上の注意事項

- ①受験票が試験日の前日になっても届かない場合は、必ずアドミッションセンターまで問い合わせてください。
- ②受験票は必ず持参してください。
- ③受験票を忘れた場合は、係員に申し出てください。
- ④試験開始時刻の10分前までに所定の教室に入室し、着席しておいてください。
- ⑤筆記試験開始30分経過後の遅刻者は受験できません。口頭試問の場合は試験開始の10分前を面接集合時間とします。面接集合時間から30分経過後の遅刻者は受験できません。

- ⑥携帯電話やスマートフォン等の音の出る機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- ⑦試験時間中の途中退室は認められません。試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室に要した時間については、試験時間の延長は認めません。
- ⑧筆記試験時間中に机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆（H・F・HBに限る）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（計時機能だけのもの）です。これら以外の所持品は足元に置いてください。
- ⑨昼食が必要な場合は、できるだけ持参してください。
- ⑩試験時間中は、係員の指示に従ってください。

(3) 入学試験の実施に関して

甲南大学では、入学試験の実施に関し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

①受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- 生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の発する音（咳・くしゃみ・ためいき・鼻をすする音・消しゴムを使用する際の音等）、電子機器類の鳴動、廃品回収や物売りの類、イベントや選挙等のアナウンス、通過する緊急車輛のサイレン等）が発生した場合でも、原則として特別な措置はとりません。
- 試験時間中に電子機器類の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく係員が発生源となったものを試験室外に持ち出し、試験場本部で保管することがあります。
- 机、椅子、空調、音響設備等の試験室による違いは一切考慮しません。
- 試験時間中に、係員が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
- 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、及びその可能性があるとして複数の係員が判断した場合、別室受験を求めることがあります。

②不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、感染症の流行、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更すること、また休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害について本学は一切責任を負いません。

試験の延期等の緊急事態が生じた際の本学から受験生への連絡は大学院入試情報サイト（<http://www.konan-u.ac.jp/exam/graduate/index.html>）上で行います。

感染症に罹患し、入学試験を欠席した場合の入学検定料返還について

(1)試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、ノロウィルス、麻疹、風疹等）に罹患し治癒しておらず、他の受験生や監督者等に感染する恐れがある場合は、入学試験の受験をお断りしています。

(2)上記(1)により本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる入学検定料を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。

①入学検定料返還の対象者

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、ノロウィルス、麻疹、風疹等）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。ただし、試験科目を1つでも受験した場合は、返還の対象とはなりません。

②入学検定料返還の申請方法

(A)下記の日時に電話をしてください。

受付日：欠席する試験当日

受付時間：9時00分～15時00分

TEL：078-435-2319（甲南大学アドミッションセンター）

（注）上記日時に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います。

（入学検定料の返還はしません。）

(B)以下の申請書類を提出してください。

①入学検定料返還申請書〈本学所定用紙〉

※電話による申請受付後に本学より郵送します。

②診断書（以下の内容が記載されているもの）

病 名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症名

加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

9. 試験日・合格発表日

(1) 試験日・合格発表日

①修士課程

募集区分	研究科	専 攻	試 験 日	合格発表日	受験ポータルサイト【UCARO】 による合否照会
1次募集	人文科学研究科	全専攻	9月1日(土)	9月7日(金)	9月7日(金) 11:00から
	自然科学研究科	全専攻			
	社会科学研究科	全専攻			
	フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻			
2次募集	人文科学研究科	全専攻	2月16日(土)	2月22日(金)	2月22日(金) 11:00から
	自然科学研究科	全専攻			
	社会科学研究科	全専攻			
	フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻			

②博士後期課程

研究科	試 験 日	合格発表日	受験ポータルサイト【UCARO】 による合否照会
人文科学研究科	2月16日(土)	2月22日(金)	2月22日(金) 11:00から
社会科学研究科			
自然科学研究科	2月17日(日)		
フロンティアサイエンス研究科			

(2) 合格発表方法

合格発表は、郵送をもって行います。(掲示発表は行いません)。合格者には、合格発表日に合格通知書、不合格者には不合格通知をそれぞれ発送します。

(3) 合格通知書が到着しない場合

受験ポータルサイト【UCARO】で合格が確認できているにも関わらず、合格発表日から3日経っても合格通知書が到着しない場合は、アドミッションセンターに問い合わせてください。なお、合格通知書未着以外の問い合わせには、一切応じられません。

10. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を送付します。同封されている本学所定の振込依頼票を用い、期間内に銀行振込により所定の納付金を納付してください。期間内に手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。なお、いったん納入された入学金は返還しません。入学手続の詳細については、合格通知書送付時にお知らせします。

課 程	募 集 区 分	第 1 次 入 学 手 続	第 2 次 入 学 手 続
修 士 課 程	1 次 募 集	9月11日(火)～9月19日(水)	2月28日(木)～3月6日(水)
	2 次 募 集	2月28日(木)～3月6日(水)(一括入学手続)	
博士後期課程	—	2月28日(木)～3月6日(水)(一括入学手続)	

- (注) 1. 入学手続完了者が、本学の定める入学辞退手続を完了した場合に限り、入学金を除く納付金を返還します。
 2. 大学院入学にあたり在留資格「留学」を必要とする者のうち、大学院修士課程入学試験1次募集で合格した者は、第1次入学手続期間内に、入学金及び学費等の一括入学手続をしてください。

11. 納 付 金

2019年度入学者の納付金は、下表のとおりです。

①学費

(単位：円)

研究科・専攻 費 目	人 文 科 学 研 究 科		自 然 科 学 研 究 科 フロンティアサイエンス研究科	社 会 科 学 研 究 科
	日本語日本文学専攻 英語英米文学専攻 応用社会学専攻 人間科学専攻 (環境・芸術・思想専修)	人 間 科 学 専 攻 (心理臨床専修)		
入 学 金	300,000	300,000	300,000	300,000
授 業 料	617,000	617,000	803,000	617,000
研 究 実 験 費	—	—	145,000	—
心 理 特 別 実 習 費	—	50,000	—	—
合 計	917,000	967,000	1,248,000	917,000

- (注) 1. 甲南大学卒業後、本大学院に入学する者又は、3年次修了後本大学院に入学を許可された者は、その入学金を半額免除します。
 2. 本大学院修士課程修了と同時に博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除します。

時期別納付金 修士課程 1次募集

(単位: 円)

研究科・専攻 費 目		人 文 学 研 究 科		自然科学研究科 フロンティアサイエンス研究科	社会科学研究科
		日本語日本文学専攻 英語英米文学専攻 応用社会学専攻 人間科学専攻 (環境・芸術・思想専修)	人間科学専攻 (心理臨床専修)		
第1次入学 第2次入学 入学手続	入 学 金	300,000	300,000	300,000	300,000
	授 業 料 (前期分)	308,500	308,500	401,500	308,500
	研 究 実 験 費 (前期分)	—	—	72,500	—
	心理特別実習費 (前期分)	—	25,000	—	—
	計	308,500	333,500	474,000	308,500
後 期	授 業 料 (後期分)	308,500	308,500	401,500	308,500
	研 究 実 験 費 (後期分)	—	—	72,500	—
	心理特別実習費 (後期分)	—	25,000	—	—
	計	308,500	333,500	474,000	308,500
合 計		917,000	967,000	1,248,000	917,000

時期別納付金 修士課程 2次募集、博士後期課程

(単位: 円)

研究科・専攻 費 目		人 文 学 研 究 科		自然科学研究科 フロンティアサイエンス研究科	社会科学研究科
		日本語日本文学専攻 英語英米文学専攻 応用社会学専攻 人間科学専攻 (環境・芸術・思想専修)	人間科学専攻 (心理臨床専修)		
入 学 手 続	入 学 金	300,000	300,000	300,000	300,000
	授 業 料 (前期分)	308,500	308,500	401,500	308,500
	研 究 実 験 費 (前期分)	—	—	72,500	—
	心理特別実習費 (前期分)	—	25,000	—	—
	計	608,500	633,500	774,000	608,500
後 期	授 業 料 (後期分)	308,500	308,500	401,500	308,500
	研 究 実 験 費 (後期分)	—	—	72,500	—
	心理特別実習費 (後期分)	—	25,000	—	—
	計	308,500	333,500	474,000	308,500
合 計		917,000	967,000	1,248,000	917,000

(注) 後期の納付金納入時期は、2019年10月16日から10月31日までの期間です。

②甲南大学生生活協同組合出資金

納入期間: 2019年2月28日(木)～3月6日(水)

金額: 5,000円(初年度のみ納入・第2次入学手続時に納入)

1. 甲南大学生生活協同組合への加入・脱退は任意ですが、本学においては教科書や各種教材の供給、食事の提供等、すべて同生活協同組合が運営しており、学生生活では頻繁に同生活協同組合を利用することが考えられますので、加入をお願いします。
2. 同組合への出資金は1口1,000円以上となっていますが、甲南大学における福利厚生事業を発展・充実させるために5口5,000円の出資にご協力ください。
3. 同組合への出資金は、入学辞退時、修了時あるいは退学時等に同生活協同組合において全額の返還を受けることができます。
4. 同組合への加入及び脱退については、下記ホームページをご覧ください。
URL <http://www.knu.jp/coop/index.html>

12. その他

- (1) 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (2) 試験を1科目でも欠席した者は、合否判定の対象外となりますので、合否結果は発送しません。
- (3) 自然科学研究科及びフロンティアサイエンス研究科において、社会人を対象とした入学試験に出願する者は、研究テーマの設定に当たって研究指導教員との話し合いにより、企業等での研究を生かすことも可能です。
- (4) 社会科学研究科経営学専攻を志願する者は、希望する科目（演習テーマ）が開講されているかどうか、出願前に必ず経営学専攻（経済・法・経営学部合同事務室）（経営学部担当）に問い合わせてください。
- (5) 過去の入試問題は公開されています。アドミッションセンター（フロンティアサイエンス研究科はポートアイランドキャンパス事務室）での閲覧または大学内でのコピー（有料）が可能です。
- (6) 職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（修士課程2年、博士後期課程3年）を超えて長期履修を希望する場合は、あらかじめ各研究科各専攻まで相談してください。
- (7) 出願資格の認定にあたり、事前の入学資格審査を必要とする者については、①「出願資格申請書（本学所定用紙）」、②最終の教育施設の卒業証明書等及び成績証明書、③実務経験等の期間及び内容を証明するもの、及び④特記すべき資格を有する者はその証明書に基づき、申請者が進学を希望する専攻が、出願資格の有無について審査を行います。
- (8) 社会科学研究科経営学専攻を志望する者で、出願資格の認定にあたって事前の入学資格審査を必要とする者については、出願書類の項目（修士（一般）はP.3、修士（社会人）はP.9、博士（一般）はP.13、博士（社会人）はP.17）で定める書類に加え、(7)の書類を提出した後、経営学専攻の指示に基づき「ビジネス等に関する見解書（4,000字程度：書式自由）」及び「同見解書に関連する資料等（主要なもの3点以内）」を提出してください。

長期履修制度について

甲南大学大学院では、職業を有している等の事情がある大学院生が、大学院の課程に規定する標準修業年限（修士課程2年、博士後期課程3年）を超えて、一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修することができる長期履修制度を設けています。

詳細につきましては、以下の窓口にお問合せください。

○長期履修制度を設けている研究科・専攻

- ・人文科学研究科 日本語日本文学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
英語英米文学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
応用社会学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
人間科学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
- ・自然科学研究科 物理学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
化学専攻＜修士課程＞
生物学専攻＜修士課程＞
生命・機能科学専攻＜博士後期課程＞
知能情報学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
- ・社会科学研究科 経済学専攻＜修士課程＞ ※研究コース・社会人コースのみ
経営学専攻＜修士課程・博士後期課程＞
- ・フロンティアサイエンス研究科 生命化学専攻＜修士課程・博士後期課程＞

【お問い合わせ先】

- （人文科学研究科）文学部事務室 電話 078-435-2755
e-mail bun@adm.konan-u.ac.jp
- （自然科学研究科）理工学部・知能情報学部事務室
電話 078-435-2756
e-mail rikou@adm.konan-u.ac.jp
- （社会科学研究科）経済・法・経営学部合同事務室
 - ・経済学専攻担当 電話 078-435-2758 e-mail keizai@adm.konan-u.ac.jp
 - ・経営学専攻担当 電話 078-435-2441 e-mail ei@adm.konan-u.ac.jp
- （フロンティアサイエンス研究科）ポートアイランドキャンパス事務室
電話 078-303-1457
e-mail first@adm.konan-u.ac.jp

病気・負傷や障がい等のある方への受験上の配慮および修学上の配慮について（全入学試験共通）

病気・負傷や障がい等のために、受験時や入学後の学修に際して配慮を希望する方は、出願開始の1箇月前までにアドミッションセンターに申し出てください。

また、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験時に特別な配慮を必要とする場合は、直ちにアドミッションセンターに申し出てください。

注1）申請に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて、可能な限り配慮措置を講じますが、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

注2）受験予定のすべての入試制度・日程で申し出が必要です。

注3）受験上の配慮を希望する場合の試験場は次の通りです。

- ①（学部）一般入学試験・公募制推薦入学試験（1次選考）：本学試験場（岡本キャンパスに限ります）
- ②（学部）上記①以外の入学試験：志願する学部の試験場
- ③（大学院）入学試験：志願する研究科の試験場
- ④（法科大学院）入学試験：各試験日の本学試験場に限ります

病気・負傷や障がい等のある方の受験上の配慮および修学上の配慮については、甲南大学ホームページ（<http://www.konan-u.ac.jp/life/shien/>）をご覧ください。

システム処理に伴う文字の取扱いについて

出願時に記載した氏名や住所等について、システム処理に使用できない文字がある場合は、表示可能な代替の文字等（代替の文字がない場合はカタカナ）に置き換えます。受験票や合格通知の表示についても代替の文字等を使用しますのでご了承ください。

文字の取扱いについて不明なことがある場合はアドミッションセンターへお問い合わせください。なお、入学後に関することは、入学後に学生部へご相談ください。

【代替文字の例】

邊 → 邊	朗 → 朗	祐 → 祐
濱 → 濱	角 → 角	桑 → 桑
廣 → 廣	臺 → 臺	遙 → 遙
辻 → 辻	芦 → 芦	溢 → 溢
迂 → 迂	葛 → 葛	灘 → 灘

個人情報の取扱いについて

本学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の安全管理のために必要な措置を講じています。出願に際して志願者から提供された個人情報は、本人及び保護者への連絡、通知、各種関係書類の送付等、入学試験の実施に必要な業務に利用します。また、本人の同意なく本学以外へ情報を提供することはありません。

入学手続完了者の個人情報については、入学者データとして利用し、本人及び保護者・保証人への連絡、通知、各種関係書類の送付及び卒業後のデータ管理等、教育研究活動に付随する業務を処理するために利用しますので、ご了承ください。

個人情報の取扱いに関する詳細は、本学ホームページ（<http://www.konan-u.ac.jp/>）で公表していますので、ご確認ください。

出願書類記入上の注意事項

出願書類の記入にあたっては、すべて黒または青インク（ボールペン可。ただし、フリクション等の消せるボールペンは不可）を用い、※印欄を除く所定欄に、楷書で正確に記入してください。修正の際は、二重線・訂正印で行ってください。

専攻分野及び受験科目調査票〔人文科学〕

募集区分 (該当するものを○で囲んでください。)		受験番号	※
修士課程	1. 一般	フリガナ	
	2. 社会人	氏 名	

専 攻	専攻しようとするコース・分野・専修	外国語受験科目								
1. 日本語日本文学	志望するコース（該当するものを○で囲んでください。） i. 専門探究コース ii. 多元教養コース 専攻分野（該当するものを○で囲んでください。） a. 日本文学（ ） b. 日本語学（ ） （ ）内には詳しい内容を記入してください。 卒業論文の題名または現在考えている仮テーマ （ ）	（1科目を選択） ※一般（専門探究コース）のみ記入 1. 英 語 2. 中 国 語 3. 漢 文								
2. 英語英米文学	志望するコース（該当するものを○で囲んでください。） i. 専門探究コース ii. 多元教養コース 専攻分野（該当するものを○で囲んでください。） a. 英語学 b. イギリス文学 c. アメリカ文学 d. イギリス文化 e. アメリカ文化 卒業論文のテーマまたは現在考えている仮テーマ （ ）	英 語								
3. 応用社会学	志望するコース（該当するものを○で囲んでください。） i. 専門探究コース ii. 多元教養コース 専攻分野（該当するものを○で囲んでください。） a. 社会と文化 b. 歴史と地理・民俗 卒業論文のテーマまたは現在考えている仮テーマ （ ）	_____								
4. 人間科学	☐ 環境・芸術・思想専修 志望するコース（該当するものを○で囲んでください。） i. 専門探究コース ii. 多元教養コース （自分の専門とする領域1つを選択し、下欄に✓印を入れてください。） <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>個別領域</th> <th>自分の専門とする領域</th> </tr> <tr> <td>a. 環 境</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>b. 芸 術</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>c. 思 想</td> <td>☐</td> </tr> </table>	個別領域	自分の専門とする領域	a. 環 境	☐	b. 芸 術	☐	c. 思 想	☐	（1科目を選択） ※専門探究コースのみ記入 1. 英 語 2. ドイツ語 3. フランス語
	個別領域	自分の専門とする領域								
a. 環 境	☐									
b. 芸 術	☐									
c. 思 想	☐									
	☐ 心理臨床専修	（1科目を選択） 1. 英 語 2. ドイツ語 3. フランス語								

- 志望する専攻及び外国語受験科目の番号を○で囲んでください。
- 人間科学専攻に出願する者は、「環境・芸術・思想専修」と「心理臨床専修」のいずれかに✓印を入れてください。
- 出願後の変更は認めません。

専攻分野及び受験科目調査票〔人文科学〕

募 集 区 分		受 験 番 号	※
博士後期課程	一 般	フリガナ	
		氏 名	

専 攻	専 攻 し よ う と す る 分 野 ・ 専 修	外 国 語 受 験 科 目
1. 日本語日本文学	専攻分野（該当するものを○で囲んでください） a. 日本文学（ ） b. 日本語学（ ） （ ） 内には詳しい内容を記入してください。 修士論文のテーマまたは現在考えている仮テーマ （ ）	（1科目を選択） 1. 英 語 2. 中 国 語 3. 漢 文
2. 英語英米文学	専攻分野（該当するものを○で囲んでください） a. 英語学 b. イギリス文学 c. アメリカ文学 d. イギリス文化 e. アメリカ文化 修士論文のテーマまたは現在考えている仮テーマ （ ）	（1科目を選択） 1. ドイツ語 2. フランス語 ----- 英語（必須）
3. 応用社会学	研究テーマ （ ）	（1科目を選択） 1. 英 語 2. ドイツ語 3. フランス語
4. 人間科学	☐ 環境・芸術・思想専修 個別領域（該当するものを○で囲んでください） a. 環境 b. 芸術 c. 思想 ----- ☐ 心理臨床専修	（1科目を選択） 1. 英 語 2. ドイツ語 3. フランス語

1. 志望する専攻及び外国語受験科目の番号を○で囲んでください。
2. 人間科学専攻に出願する者は、「環境・芸術・思想専修」と「心理臨床専修」のいずれかに✓印を入れてください。
3. 出願後の変更は認めません。

研 究 計 画 書

（日本語日本文学専攻専門探究コース
応用社会学専攻専門探究コース
人間科学専攻環境・芸術・思想専修専門探究コース）

志望する専攻・コース (該当するものを○で囲んでください。)	受 験 番 号	※
1. 日本語日本文学専攻専門探究コース	フリガナ	
2. 応用社会学専攻専門探究コース	氏 名	
3. 人間科学専攻環境・芸術・思想専修専門探究コース		
研究課題 研究しようとする課題を具体的に述べてください。		
志望動機 本専攻を志望した理由を含め、志望動機を具体的に述べてください。		

(裏面に続く)

研究計画

研究課題にたいしてどのように研究をすすめるのか、各年度の具体的な計画を述べてください。

専攻分野及び受験科目調査票〔自然科学・フロンティアサイエンス〕

募 集 区 分 (該当するものを○で囲んでください。)		受 験 番 号	※
1. 修 士 課 程	1. 一 般	フリガナ	
2. 博士後期課程	2. 社 会 人	氏 名	

研究科	専 攻	課 程	専 攻 し よ う と す る 分 野
自然科学	1. 物 理 学	修 士	()内に第1希望及び第2希望の別を数字で記入してください。 (第2希望が明示されていない場合は、第1希望のみの出願とみなします。) ()理論宇宙物理学 ()半導体物理学 ()宇宙粒子物理学 ()電子物性物理学 ()原子核物理学 ()光・量子エレクトロニクス ()宇宙核物理学 ()光物性物理学
		博士後期	
	2. 化 学	修 士	()内に第1希望及び第2希望の別を数字で記入してください。 (第2希望が明示されていない場合は、第1希望のみの出願とみなします。) ()有機材料化学 ()有機合成化学 ()環境分析・計測化学 ()機能性金属錯体化学 ()固体構造化学 ()表面・界面物理化学 ()光エネルギー変換材料化学 ()機能設計・解析化学 ()構造有機化学 ()無機固体化学 ()界面・コロイド化学 ()生体材料創成学
		修 士	希望する分野1つに✓印をつけてください。 ☐ 発生物学 ☐ 系統分類学 ☐ 植物細胞工学 ☐ 細胞遺伝学 ☐ 生化学 ☐ 生体調節学 ☐ 微生物学 ☐ 植物細胞生物学 ☐ 細胞生物学
	4. 知 能 情 報 学	修 士	希望する分野1つに✓印をつけてください。 ☐ Webコミュニケーション ☐ ヒューマンインテリジェンス ☐ マシンインテリジェンス
博士後期		希望する分野1つに✓印をつけてください。 ☐ 情報構造 ☐ 知能システム	
5. 生 命 ・ 機 能 科 学	博士後期	希望する分野1つに✓印をつけてください。 ☐ 環境・資源科学 ☐ エネルギー科学 ☐ 分子生命科学 ☐ 細胞生命科学	
フロンティアサイエンス	6. 生 命 化 学	修 士	()内に第1希望から第3希望の別を数字で記入してください。 (第3希望まで明記されていない場合は、記入分のみの出願とみなします。) ()遺伝子薬学 ()腫瘍分子生物学 ()分子細胞発生学 ()生命高分子科学 ()生命分子化学 ()バイオ分子機能 ()分子設計化学 ()バイオ計測化学 ()機能システム化学 ()ナノ材料化学 ()無機光化学 ()生物有機化学 ()生物無機化学 ()機能性高分子 ()有機合成化学
		博士後期	

1. 志望する専攻の番号と課程を○で囲んでください。
2. 出願後の変更は認めません。
3. 専攻しようとする分野は、入学志願票Aの「専攻しようとするコース・分野・専修」に記入した分野に限ります。異なるものを記入した場合は不備となります。

研究計画書〔自然科学・フロンティアサイエンス〕

[illegible]

(裏面に続く)

研究計画及び研究方法

経営学 博士（社会人）

受験番号	※
------	---

年 月 日

印

[illegible]

専攻分野及び受験科目調査票〔経済学〕

募集区分 (該当するものを○で囲んでください。)		受験番号	※
修士課程	1. 一般	フリガナ	
	2. 社会人	氏 名	

修士課程（一般）

コース	受験科目	
1. 研究コース	専門科目（1科目を選択）	
	☐ 経済理論	☐ 経済史 ☐ 経済政策
2. 税理コース	外国語科目もしくは専門科目（1科目を選択）	
	☐ 英 語	☐ 財 政 学

1. 志望するコースの番号を○で囲んでください。
2. 研究コースに出願する者は、専門科目から一つを選択し√印を入れてください。
3. 税理コースに出願する者は、外国語科目もしくは専門科目から一つを選択し√印を入れてください。
4. 出願後の変更は認めません。

修士課程（社会人）

コース	専攻しようとする科目（演習テーマ）
社会人コース	☐ 経済学原論 ☐ 経済学史 ☐ 日本経済史 ☐ 財政学 ☐ 経済政策 ☐ 労働経済学 ☐ 国際経済学 ☐ 日本経済論 ☐ 金融政策論 ☐ 社会思想史 ☐ 計量経済学 ☐ 経済体制論 ☐ 産業経済学 ☐ 環境経済学 ☐ 国際金融論 ☐ 都市政策論

1. 専攻しようとする科目（演習テーマ）を選択し√印を入れてください。
2. 社会人コースは、一般の研究コースと同じカリキュラムになります。税理コースのカリキュラムは受講できません。
3. 出願後の変更は認めません。

研 究 計 画 書〔経済学〕

氏 名		研究指導予定教授		受験番号	※
研究課題 研究しようとする課題を具体的に述べてください。					
志望動機 本専攻を志望した理由を含め、志望動機を具体的に述べてください。					

キ
リ
ト
リ
線

専攻分野及び受験科目調査票〔経営学〕

募 集 区 分 (該当するものを○で囲んでください。)		受 験 番 号	※
1. 修 士 課 程	1. 一 般	フリガナ	
2. 博士後期課程	2. 社 会 人	氏 名	

修 士 課 程

1. 志望するコースの番号を○で囲んでください。
2. 専攻しようとする科目は、出願前に必ず経営学専攻（078-435-2441）に開講科目を確認の上、記入してください。
また、確認した日を記載してください。
3. 出願後の変更は認めません。

コ ー ス	専 攻 し よ う と す る 科 目	外国語受験科目
1. 経 営 学 コ ー ス 2. ビジネスコース	開講予定科目群 ※1. 経営学コースに出願する者は、1科目を選択し√印を入れてください。 ※2. ビジネスコースに出願する者は、第1希望と第2希望を選び数字で□内に記入してください。 ☐ 経営学 ☐ 経営史 ☐ 経営管理論 ☐ 経営戦略論 ☐ 経営財務論 ☐ 経営組織論 ☐ 工業経営論 ☐ 経営労務論 ☐ アジア経営論 ☐ 経営科学 ☐ 企業会計論 ☐ 財務諸表論 ☐ 管理会計 ☐ 監査論 ☐ 情報会計システム論 ☐ 税務会計 ☐ 国際会計論 ☐ マーケティング・サイエンス ☐ マーケティング管理論 ☐ 金融論 ☐ 証券論	英 語 (経営学コースのみ実施)

専攻問い合わせ日

月 日

博士後期課程

1. 専攻しようとする科目は、出願前に必ず経営学専攻（078-435-2441）に開講科目を確認の上、記入してください。
また、確認した日を記載してください。
2. 出願後の変更は認めません。

専 攻 し よ う と す る 科 目	外国語受験科目
希望する科目（演習テーマ）を1つ選択し√を入れてください。 ☐ 経営学 ☐ 経営史 ☐ 経営管理論 ☐ 経営戦略論 ☐ 経営財務論 ☐ 経営組織論 ☐ 工業経営論 ☐ アジア経営論 ☐ 経営科学 ☐ 企業会計論 ☐ 財務諸表論 ☐ 管理会計 ☐ 情報会計システム論 ☐ 税務会計 ☐ 国際会計論 ☐ マーケティング・サイエンス ☐ 金融論	英 語 (一般のみ実施)

専攻問い合わせ日

月 日

研 究 計 画 書〔経営学〕

氏 名		受験番号	※
専攻しようとする科目	(受験科目と同じ)		
研究課題 研究しようとする課題を具体的に述べてください。			
研究の背景となる経験・資源 これまでの経験が研究課題とどのように関連するのか述べてください。また、研究課題について本学以外で活用可能な資源があれば、それ〔組織（企業・家庭）、データベース等〕についても言及してください。			

(裏面に続く)

研究実施計画

研究課題の達成のためにどのような研究活動をどのような実施計画のもとに進めるのか具体的に述べてください。

研究成果の活用

研究成果をどのように活用するのか述べてください。

実務経験レポート〔経営学〕

氏 名		受験番号	※
職務経歴や具体的な業務等に関して得た知見について記入してください。			

- 1. 1,000文字程度で作成してください（パソコン等で作成する場合は、1行50字程度、添付可）。
- 2. 用紙が不足する場合は、コピーしてください。

キ
リ
ト
リ
線

受験番号	※
------	---

留学にかかる経費負担計画書

Statement of Financial Resources

氏名 Name in full	国籍 Nationality

あなたが甲南大学に留学する間の総費用の支出元を明記してください。

Please indicate below your source and amount of funding for your study at Konan University.

支出元 Sources of Funds	金額（単位：円） Amount (Japanese yen)
個人貯蓄 Personal savings	¥ _____
両親または親戚 Parent or relative (関係：) (Please specify the relation：)	¥ _____
政府またはその他財団 Government/sponsoring agency (名称：) (The name of your sponsor：) ※奨学金受給証明書のコピーを提出してください。 ※Please attach a copy of scholarship award letter.	¥ _____
その他 Others (詳細：) (Please specify the details：)	¥ _____
TOTAL：	¥ _____

上記に示しました内容に相違ないことを誓約いたします。

I hereby certify that all information on this statement is true and accurate and that the stated funds are available for my educational expenses at Konan University.

志願者氏名

日付

Student's signature _____

Date _____

受験番号	※
------	---

保 証 書

Letter of Guarantee

志願者の留学期間中日本に在住し、志願者の留学すべてについて保証いたします。

I declare that I reside in Japan and am happy to act as guarantor for the applicant
in all matters during the applicant's stay in Japan.

志願者氏名

Applicant

(Full name) (Family) (First) (Middle)

保証人氏名

Guarantor

(Full name) (Family) (First) (Middle)

ローマ字

In Roman letters

志願者との関係

Relationship to applicant

住 所

Address 〒 TEL () —

職 業（詳細に記入してください）

Occupation (in detail) TEL () —

署 名

Signature Date 20.....,
(year) (month) (day)

年 月 日

受験番号	※
------	---

推 薦 書

Letter of Reference

1. 志願者記入欄 (To the applicant)

志願者は以下の事項を記入の上、推薦者に2の部分の記入を依頼してください。

Please complete this section before forwarding the form to your referee, requesting that he/she completes section 2.

氏 名 (Applicant's full name)

専 攻 (Department)

2. 推薦者記入欄 (To the referee)

上記の者は甲南大学大学院に入学を志願しています。志願者の研究経過、研究計画に対する所見及び能力、性格について記入の上、所定の封筒に厳封したのち、志願者にお渡しください。よろしくお願いいたします。

The above-named is applying for admission to the Graduate School of Konan University. We would be grateful to receive, in confidence, your opinion of the candidate's suitability for the proposed field of study, of his/her academic performance, and of his/her character. Please return this completed form to the applicant in a sealed envelope.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

署 名 (Signature)

氏 名 (Name)

職 名 (Position)

大 学 名 (Affiliation)

電 話 (Tel) ファックス (Fax)

記載年月日 (Date) 20.....,
(year) (month) (day)

学 歴 等 調 査 書

I 志願者

(姓)

(名)

氏 名

(ローマ字)

国 籍

本 籍 地

現 住 所

方

〒

TEL ()

ー

II 志願専攻

専 攻	研 究 分 野	指導教員名 (予定)

(注) 大学院案内に記載されている専攻、分野、指導教員名を記入すること。

III 学歴

学 校 名	学校所在地	在 学 期 間	学 位
		年 月 ～ 年 月	
		年 月 ～ 年 月	
		年 月 ～ 年 月	
		年 月 ～ 年 月	
		年 月 ～ 年 月	
			通算修学年数 年 箇月

(注) 通学した学校 (小学校を含む) を年代順に記入すること。

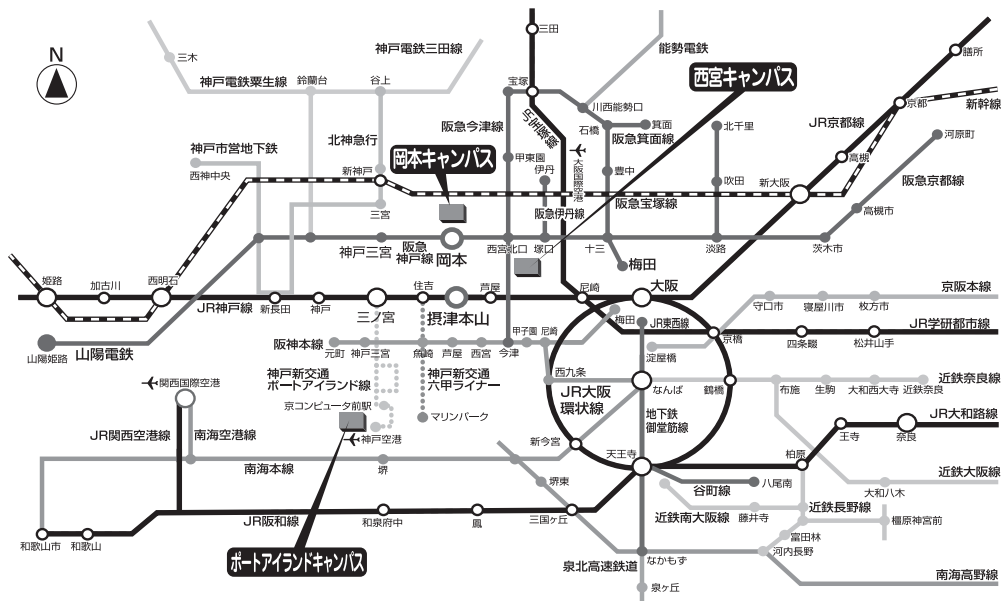
IV 外国語学習歴 (日本語を含む)

外 国 語 名 称	履 修 期 間	履 修 機 関
	年間	
	年間	
	年間	
日本語能力試験の受験結果があれば記入してください。		

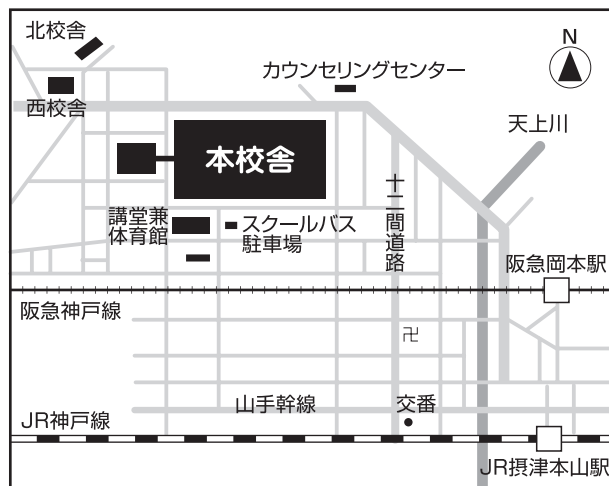
V 職歴

職 場 名	所 在 地	勤 務 期 間
		年間
		年間
		年間

アクセスガイド



岡本キャンパス



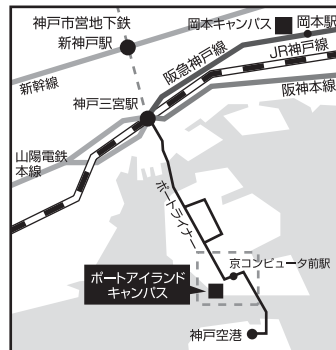
阪急神戸線「岡本駅」下車徒歩約10分
JR神戸線「摂津本山駅」下車徒歩約12分

西宮キャンパス



阪急各線「西宮北口駅」下車徒歩約3分
JR神戸線「西宮駅」下車バスで約5分あるいは徒歩約13分

ポートアイランドキャンパス



神戸新交通ポートアイランド線
「京コンピュータ前駅」
下車徒歩約4分

甲南大学アドミッションセンター

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

TEL (078) 435-2319 (直通)

FAX (078) 431-2908

E-Mail ao@adm.konan-u.ac.jp